

開講年度	2026		開講学期	春学期		
科目コード	C40043		授業コード	10012		
科目名	インテリア計画（単独受講可能科目）			開講曜日・時限	水曜4限	
単位数	2.0		授業形態	講義		
担当教員名【代表】	藤本 幹也（Mikiya Fujimoto）					
担当教員名						
ユニット名	建築・インテリア①					
先修条件						
C-PLAT	C	○	P	○	L	○
授業のねらい	インテリアの計画には、環境形成に必要な様々な要素を考慮し、総合的にデザインする能力が必要です。 本講義では人間の行動特性、材料、インテリアエレメント等インテリアを考えるための基礎的知識を身につけると共に、提案するための図面やコンセプト作成のための流れを把握することを目的としています。					
授業時間外学習	1)空間計画では、住宅の各部屋の事例を教科書、雑誌から調べテーマごとにまとめる。(L) 2)テーマに沿った事例を調べて、紹介できるかたちにまとめる。(P/A) 3)毎回授業内で実施した内容に関するレポート課題・問題をel-campusより実施し、課題の解説するなど授業時間内にフィードバックを行います。					
授業計画						
回	主 題	内容・授業方法・予習および時間・復習および時間・得られる成果など				
1	インテリア計画の概要 インテリアと寸法1	インテリア計画で扱う内容を他講義や資格と関連して紹介する。(L) 身近なインテリアを実測する。(C/T) 予習(2時間) :教科書の内容をもとにインテリア計画について学びたい内容を考える 復習(2時間) :実測した寸法を図面化する。				
2	インテリアと寸法2	建築空間の基本となる人体寸法と建築寸法の関連を学び、寸法感覚を身につける。(P/L) 予習(2時間):教科書の該当範囲をまとめる 復習(2時間):図面化した実測空間に、人体寸法を入れ込む				
3	インテリアと寸法3	実際の寸法を用いて、インテリアを検討するための資料を作成する(C/P/A) 人間工学に関する資料の作図をし、授業時間内に作図課題のフィードバックを行う。 予習(2時間):人体寸法の入った実測空間をインテリアパースとしてまとめる 復習(2時間):授業内課題を完成させる				
4	インテリアと材料1	インテリアを構成する素材の、テクスチャーや色等その特性について学ぶ。(L) 予習(2時間):教科書の該当範囲をまとめる 復習(2時間):身の回りのインテリア素材についてまとめる				
5	インテリアと材料2	インテリア事例から使用される材料を調べる(L/A) 予習(2時間) :インテリア事例の図面データを収集する 復習(2時間) :インテリア事例の材料を調べる				
6	インテリアと材料3	インテリアを構成する材料をまとめ。(C/P) 予習(2時間) :住宅の材料事例を発表できるかたちにまとめる 復習(2時間) :パースを用いて材料をリフォームする				
7	インテリアとエレメント1	インテリアを構成するエレメントとして、家具やテキスタイル、照明のデザイン特性を学ぶ(L) 予習(2時間):教科書の該当範囲に目を通す 復習(2時間):教科書の該当範囲をまとめる				
8	インテリアとエレメント2	インテリアエレメントとして、照明器具、や家具のデザインを調べる(L/A) 予習(2時間):インテリアエレメント事例の資料を収集する 復習(2時間):各自エレメント事例について調べる				
9	インテリアとエレメント3	各自が調べたエレメント事例の紹介をし、その特徴をまとめる。(C/P) レポート課題は、el-campusをつかって実施し、フィードバックを行います。 予習(2時間) :調べたエレメント事例を紹介できるかたちにまとめる 復習(2時間) :紹介したエレメント事例をレポートとしてまとめる				

10	住宅のインテリア計画	インテリアプランニングについて学ぶ(P/L/A) 予習(2時間)：住宅におけるインテリア計画について調査し整理する。 復習(2時間)：有名建築物、集合住宅について理解する。
11	教育施設、ワークスペースのインテリア計画	幼稚園、小学校など教育施設や、ワークスペースのインテリアプランニングについて学ぶ。(P/L/A) 予習(2時間)：教育施設、ワークスペースについて調査し整理する。 復習(2時間)：プリントを確認し、教育施設、ワークスペースについて理解する。
12	商業施設のインテリア計画	商業施設のインテリアプランニングについて学ぶ。(L/A) 予習(2時間)：商業施設の種類と事例を調査しまとめる。 復習(2時間)：プリントを確認し、商業施設におけるインテリア計画について理解する。
13	公共施設、複合施設のインテリア計画	公共施設、複合施設のインテリアプランニングについて学ぶ(P/L/A) 予習(2時間)：公共施設について調査し整理する 復習(2時間)：プリント、授業資料を確認し、公共施設について理解する
14	住宅のプランニング1	住宅のプランニングをするにあたり、色々な視点から建物をイメージする(L/A) 予習(2時間)：事前に配布資料を読み、建物の構想を検討し、整理する。 復習(2時間)：住宅プランニングの見直し、修正する。
15	住宅のプランニング2	建物の外観デザイン、ボリュームを検討し、プランニングをまとめる(P/L/A) 最終的にプランを作図し、授業中にフィードバックし、プランの修正指導などをおこなう。 予習(2時間)：住宅のデザイン、プランニングを検討する。 復習(2時間)：学生の作品を参考に、プレゼンテーションの評価について考察する
DP / ナンバリング		しない
授業の到達目標・学修成果		インテリアを計画する上で必要となる知識の概要を学び、実践や評価のための視点を身につける。
成績評価の対象となる項目・配分		
項 目		配 分
		%
期末試験の方法(筆記)		40
各テーマ課題(10%×4課題)		40
確認テスト・復習テスト		20
		%
		%
		%
		計 1
		00 %
上記以外の対象となる事項	原則として出席率が3分の2以上の学生のみを成績評価の対象とする 進行状況により内容の変更が適宜あります。(その都度お知らせします)	
教科書	今村仁美・田中美都著「住まいの建築計画」 学芸出版社	
参考書	授業中に紹介	
授業に関する質問等の方法	初回授業で担当教員に確認をしてください。	
備考		